

## はじめに

私たちのまち伊勢原市の緑は、大山・日向の山深い緑を中心に、畑や果樹園などから成る丘陵地の緑と水田などの農地から成る広大な平坦地の緑、そして、量的には少ないものの市街地に潤いをもたらしている樹林地や公園などの緑があります。これらの緑は、私たちが生活するうえで重要な役割を担うものであり、また訪れる人々にも安らぎや潤いを与えてくれます。

しかし、自然環境や景観の緑は、都市化の進展や生活様式の変化など、様々な問題による減少が見受けられます。また、CO<sub>2</sub>の排出やヒートアイランド現象といった環境問題への関心の高まりに加え、少子高齢化の進展による地域社会への影響や第二東名自動車道・国道246号バイパスといった広域幹線道路整備など、伊勢原市の貴重な緑を取り巻く環境変化への対応策が課題となっています。

こうした状況を踏まえ、伊勢原市の総合計画である「いせはら21プラン」を基本に、都市環境に必要な“緑を守り引き継ぐ”“緑を生み出し育てる”ための総合的な計画として、緑の役割・効果を再認識し、公園や緑地に関する事業だけではなく、まちづくり全体の緑に関する指針となるよう「伊勢原市緑の基本計画」を策定しました。

この計画は、「自然と共生する 水と花と緑のいせはら」を目指し、伊勢原らしい環境・景観の保全・創造に向け、市民や企業の皆様方と力を合わせ、一体となって取り組んでまいりたいと考えています。皆様方の温かいご理解とお力添えをお願い申し上げます。

本計画策定にあたり、市民や市民団体の皆様から貴重なご意見、ご提言を多数いただき、心から感謝申し上げます。

平成20年12月 伊勢原市長 長塚幾子